



※解禁16:00

つくば市記者会 御中

つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

## 近未来技術等社会実装事業(内閣府)に選定されました

項目(あてはまるものすべてにチェック)

イベント・会議等の事前周知依頼

イベント・会議等の取材依頼

イベント・会議以外の事業の周知依頼

参加者募集の周知依頼

その他( )

全2枚(本紙含む)

### <概要>

内閣府では、近未来技術等を活用した地方創生の提案を地方公共団体から募集し、優れた事業について関係府省庁が総合的に支援することとしております。

このたび、茨城県とつくば市が共同提案した下記の事業が選定されましたので、お知らせします。

### 選定事業

(1)テーマ名:高齢社会の課題を解決する近未来技術(Society5.0)社会実装  
(自動走行, 農業, 医療, 防災)

(2)提案者:茨城県・つくば市(共同提案)

(3)提案概要(つくば市分):高齢社会や人口減少に伴う課題の解決に向けて、近未来技術の社会実装に取り組む。

つくば市提案	移動支援	①搭乗型移動支援ロボットの実用化を進める。
	医療	②ImPACT(革新的研究開発推進プログラム)で開発を進めるサイバニクス技術の実証を進める。
		③医療相談スマートフォンアプリの活用を進める。
防災	④SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)によって開発が進められている悪天候予測システムの実用化を進める。	

### 【参考】近未来技術等社会実装事業について

(1)事業趣旨:AI, IoTや自動運転等の近未来技術や科学技術研究の成果等, 最新の知見等を活用し, 産業の生産性向上や, 公共交通の維持・改善等, 様々な課題を解決し, 地方創生に繋げていく。

(2)提案主体:都道府県, 市区町村

(3)国の支援:省庁横断的な協議会を構築し, 関係府省庁による支援策をパッケージで実施する。  
国の予算措置(交付金, 補助金)やサンドボックスの活用等を検討する。

# 提案タイトル

高齢社会の課題を解決する近未来技術（Society5.0）社会実装（自動走行、農業、医療、防災）

提案者

事業分野

茨城県、茨城県つくば市

健康寿命の延伸、移動革命の実現、サプライチェーンの次世代化、快適なインフラ・まちづくり、SIP等の活用

## 背景・課題

目指す  
将来像

- 高齢者や障害者など誰もが自分らしく生活できるための健康寿命の延伸や移動革命の実現、防災・減災等による快適なまちづくりなど、Society 5.0とSDGsが融合し、社会課題がいち早く解決される「活力があり、県民が日本一幸せな県」「世界のあしたが見えるまち」を実現

解決すべき  
課題

- 千人あたりの自動車保有台数が全国3位の一方で交通事故発生件数も高く(全国12位(2017年))、高齢者による事故が増加
- 人口減少が進む中、介護現場や農業現場等では、人材不足が深刻

## 2020年度までの事業内容

### ○茨城県事業：農業用ロボット、自動運転 等

活用技術

事業概要

ロボット  
自動運転

- 農業ロボット研究会(ユーザーである農業者・農業用ロボットのメーカー・技術コーディネーター等で構成)において、地域の農作業システムを分析し、実装を目指し、研究会員が共同で開発・改良を実施
- 民間事業者が研究開発を進めている自動運転技術を活用。さらに多くの自動車にこの技術が搭載されていくよう、多様な道路環境下において実証等を実施



自動運転

### ○つくば市事業：自動運転移動支援ロボット、革新的サイバニクス技術 等

活用技術

事業概要

ロボット

- 座り乗り型搭乗型移動支援ロボットを、身体障害者用電動車いすに位置付けた上で、運転免許を保持しない高齢者や歩行に支障のある人の生活の活動の範囲や機会を拡大
- 重介護ゼロ社会を実現する革新的サイバニクスシステム(ImPACT成果)を2020年度までにつくば市において実装し、他地域への展開を実施



サイバニクス技術